

新しい人生の門出に

公民館結婚のすすめ

生活の合理化をはかるため、冠婚葬祭の簡素化を手はじめとする新生活運動の機運が盛りあがり、一部の市民から、社会教育活動を積極的に推進している公民館で、ある一定の様式を定めて結婚式をおこなっては、という要望から発足したのが「公民館様式」の結婚式です。

わたくし達は、お互に無駄と知りながらも、ともすれば結婚にともなう行事が古いしきたりや、世間へのていさい、見栄や外聞にこだわり、無駄な経費や手数をかけているようです。

「結婚式」は、新郎新婦が共に新しい人生の出発を誓い合う儀式であり、「披露宴」は、この2人の前途を祝い励ますのが本旨であります。

公民館では、結婚の本来の意義を考え旧来の形式にこだわらず、新しい時代にふさわしい簡素で美しい様式を生み出し結婚されるみなさまの新しい人生の門出を祝福し、明るく幸福な新生活建設の出発点にふさわしい、大館市独自の「公民館様式」を定め、昭和30年11月3日（文化の日）に第1回の結婚式をおこない、今日まで500余組の多くの方々に利用され、みなさまから好評を得ております。

公民館様式設定後の挙式者数

年	総数	挙式の種別			披露宴
		神式	公民館式	のみ	
30 年	13	11	2	0	
31 //	57	34	21	2	
32 //	78	42	27	9	
33 //	81	32	42	7	
34 //	64	30	31	3	
35 //	70	28	40	2	
36 //	68	28	34	6	
37 //	84	38	42	4	
計	515	243	239	33	

この中には、兄弟、兄妹が一緒に3家合同というのが2回あり、また、新郎新婦が、弘前市と山本郡森岳村、能代市と小坂町というどちらも大館に関係のない方が、地理的に中間にあるということで公民館を利用したケースもありました。

このように多くの方々に利用されている「公民館様式」の結婚式とはどのようなものか、その形式と費用を紹介しますと

支度

案内状の作成、婚姻届の提出、各業者（衣裳、お膳、引物、記念品等の発注先）への連絡、会場の準備および式の進行、座席の名札、更に新婚旅行の宿舎のあっせんまで、すべて公民館で取計らいます。

挙式の形式および式次第

◎公民館式（約20分）

- 1 互礼（全員）
- 2 開式のことば（仲人）
- 3 誓いのことば（新郎新婦）
- 4 公民館長祝詞
- 5 来賓祝辞
- 6 両親の謝辞
- 7 乾盃

◎神式（神官司祭約30分）

- 1 修祓
- 2 祝詞奏上
- 3 三献成姻の儀
- 4 誓詞奏上（新郎新婦）
- 5 玉串奏上
- 6 親族盃

披露宴の次第

◎挙式が公民館式の場合は、挙式と披露宴が同時におこなわれます。

◎挙式が神式の場合は

- 1 互礼（全員）
- 2 開式のことば（仲人）

- 3 来賓祝辞
- 4 両親の謝辞
- 5 乾盃

費用

（経費の精算は、後日一括して公民館に支払う）

◎身支度・（美容院は指定されても差支えありません）

- ・モーニング損料 1.000円
- ・花嫁貸衣裳損料 3.000～7.000円

◎挙式

- ・公民館式 200円
- ・神式（お供物代共）2.000円

◎披露宴・（両家合同の披露宴として経費は共同負担が望ましい）

区分 種類	内 容	金 額
お茶の会	紅茶・ケーキ・果物	200円
和食(A)	折詰または盛皿 5品	200～300円
和食(B)	お膳 5～7品	500～550円

そのほか

- ・赤飯（折詰） 50円
- ・ご飯とみそ汁 40円
- ・引物（和・洋菓子）170～350円
- ・記念品（菓子器ほか） 210円
- ・酒その他の飲物は実費（出席者全員の1人平均3.6dl以内の場合が多く、またお酌の方は主催者側で用意していただきます）

◎記念写真・（挙式前後、館内で撮影）

- ・キャビネ版（はがきの約2倍）3枚1組 800～1.100円
- ・焼増し1枚につき 120～180円

◎会場費・その他

- （人員で多少差がある）
- ・使用料、人夫賃、雑費とも 2.300～2.500円程度

◎案内状・（いずれも封筒付で、希望により作成）

- ・活版印刷 20円以内
- ・タイプ印刷 8円

そ の 他

- ・時間の厳守・・・定時に式をおこなうため、時間は絶対に守ること
- ・結納・・・結婚成立のしるしとして金品に重きをおかず、気持を表す程度にとどめ、金額は新郎の月収以下とし、お返しは止めましょう。
- ・調度品・・・相互の話し合いにより必要品を最少限度にとどめ、それ以外のものは式後に買い足していきましょう。

〔写真は 兄と妹が一緒に挙式した3家合同の結婚式風景〕

